

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・小グループ・個人活動が行える空間と、集団活動が行える空間や個別課題・対面課題ができる空間が設けられている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3		・配置数は足りているが、少なく思う時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			・所内全面でバリアフリーになっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・アンケート回収後、職員会等で話し合う機会を作っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・zoom等を利用して、外部講師による勉強会を2カ月に1度行っている。 ・福祉協議会等によるスキルアップ研修に参加している。 ・研修の回数を増やしてほしい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・職員間で共有する時間をもっと設けたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・年次活動計画ならびに月間活動計画を立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		・運動学習中心になっている ・活動プログラムを再検討する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		・児童一人ひとりに合った課題を抜き出して行っている。 ・集団活動でルールを守る等、全員で行えるように工夫して計画をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・より特性に応じた、活動を検討する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・その日の活動予定を朝礼時に周知している。 ・週間活動予定を前の週に周知をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7			・終礼時や業務日報でその日の報告をあげて、気づいた点や改善点があれば職員会の議案として話し合っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		・アレルギーのある利用児童に対しての医療ケアとしてエピペン研修等全職員が受けている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・情報共有のため見学、聞き取りは必ず行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	2	・コロナ禍で計画が立てれない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	2	・コロナ禍で計画を立てることができない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			・同意書を配布して、理解を得ている。

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・絵カードや手話を用いて、促している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	2	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・2か月に1回防災週間を設けて、事前学習と避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・権利擁護安全委員会を設置して、その内容を精査している。また、職員会の議案として話し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		・エピペン講習を職員全員が受けている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				